

葛飾は 協働で



葛飾区は持続可能な開発目標(SDGs)を
支援しています。

2024年版 葛飾区協働事例集

発行日：令和6年3月

発行：葛飾区

〒124-8555 東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代表)

<https://www.city.katsushika.lg.jp/>

編集：葛飾区政策経営部政策企画課

電話 03-5654-8177 (直通)

取材・編集・デザイン：株式会社 Jリポート

住民の手でまちを潤し、仲間を集める 合言葉は、新小岩駅をもっとメジャーに！	新小岩南エリア マネジメント検討部会	P.23
積極的に地元とつながり 若人の育成や コミュニティ活性化を担う青年集団	公益社団法人 東京青年会議所 葛飾区委員会	P.25
生きづらい悩みをわかちあう 無理せず、少しずつ、つながれる場“金町WRAP”	ラップ 金町WRAP	P.27
明治時代・日本生まれの“ソフトテニス” 子どもからシニアまで楽しんでいます！	葛飾区ソフトテニス連盟	P.29
高砂の知名度を上げるために活動16年 子どもが思わず踊り出す“音楽祭”をめざす！	高砂音楽祭実行委員会	P.31
「かつしかグルメ選手権Jaぱんカップ」 区内パン屋めぐりが新しい娯楽へと発展	葛飾区商店街連合会 葛飾区商店街振興組合 連合会	P.33

協働推進担当からのお知らせ

- 「葛飾らしい協働」の輪を広げていくために P.35
- 協働のまち葛飾 下町川柳コンクール P.37
- 葛飾みんなの協働サイト P.38
- 葛飾区職員出前講座 P.39
- 動画で見る！葛飾区の協働 P.40
葛飾協働まちづくり表彰

SDGs推進担当からのお知らせ

- 協働をすすめ さらに持続可能な 葛飾へ P.41
～葛飾区はSDGsを推し進めています～

社会福祉協議会からのお知らせ

- ボランティア・地域貢献活動センター P.43

目次

Contents

葛飾らしい協働	P.1
区長あいさつ	P.2
ひとりぼっちのご飯を無くしたい！ 子どもは 誰でも 無料の食堂	あったかキッチン水元 P.3
日本語のすばらしさを“わらべうた”で 0～2歳児に伝える、読み聞かせ活動	ととけっこう P.5
婦人部会の力が、葛飾の美化清掃を支える！ まちの「清掃関連情報」の伝道師	葛飾清掃協力会 婦人部会 P.7
ごみは資源、資源は宝！ リサイクルにも積極的に取り組む！	葛飾東清掃協力会 婦人部会 P.9
モンチッチとコラボ！ 乳がんの“早期”発見・治療の大切さを広める	公益財団法人 日本対がん協会 P.11
ゆったり、簡単、でも効果大！ “健美操”リーダーがシニアの健康を支える	けんぴそう 健美操リーダーの会 P.13
立石に誰もが気軽に知り合える場を！ 「ふれあう・ささえ合う・助け合う」まちづくり	小地域福祉活動立石 P.15
町会が主体となって実現 移動販売で年配者の“買物困難”を助ける！	高砂一丁目町会 P.17
令和4年度の相談件数1,800件！ 無料で法律相談、区民の不安を和らげる！	葛飾弁護士倶楽部 P.19
新小岩駅北口に、もっと賑わいを！ 絶賛“地域活性化中”	新小岩北エリア マネジメント検討部会 P.21

このきずなによる活動は、現在に至っても脈々と受け継がれています。この特色を大切にするとともに、さらに大きく発展させて、本区との関わりのある方々や団体、事業者の皆様がそれぞれの特色を活かして協働することにより、地域を良くしようという活動はより一層の効果をあげることができます。

現在もさまざまな形で協働による素晴らしい活動や事業が活発に行われています。そのごく一部ではありますが、皆様にご紹介したいと考え、16団体に取材をさせていただきました。

今回で10冊目の発行となりますが、ご紹介した方々をはじめ、各方面の皆様からの反響も大きく、喜んでいただいております。今年も、この事例集により、本区で行われている協働の取組やそれに携わる方々の熱い思いなどを皆様にお伝えし、一人でも多くの方に地域を良くする活動に関心を持っていただき、また、参加していただけるようになればと考えております。

最後になりますが、本事例集の作成にあたって取材にご協力いただいた
皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

葛飾区長 青木 克徳

葛飾らしい協働

葛飾区では、
区と区民の皆様との連携に限らず、
区民の皆様が「より良いまちにしよう」
という思いをもって
日々取り組んでいらっしゃる全ての活動が
「葛飾らしい協働」であると考えています。
区民、事業者、団体等の多様な皆様が、
地域を良くしようという思いを持ち、
お互いに理解・尊重し合いながら活動することが、
「夢と誇りあるふるさと葛飾」を
実現していくための一歩となります。
皆様一人一人の「より良いまちにしよう」
という思いを「協働の活動」につなげつつ、
その活動の輪を広げていきましょう。





INTERVIEW

寂しそうだった子どもの目が
みるみる輝きだすのがうれしい！

代表
むらかみ まきお
村上 牧夫さん

参加児童保護者
いとう 伊藤さん
理事
おかむら あきら
岡村 明さん

私は民生委員の活動を通して、孤立している子どもがいる、という現実を知ったんです。親が心の病気のため学校に通えない兄妹がいて、寂しそうな目をしている…何かせずにはいられませんでした。そういう子たちが食堂に来てくれるようになって、より良い方向に変わっていく姿を見ると、本当に良かったと思いますよ。

今でこそ、子ども食堂の意義は全国的に

認められています。しかし葛飾で始めた当初はネガティブな見方をする方もいて、本人だけでなく親も傷つきました。このままではいけないと思い、“みんなで一緒にご飯を食べる、子どもは誰でも無料の食堂”として、近隣の学校にチラシを置くなど努力を重ねました。

今では、地域のボランティアの皆さんにも支えられ、楽しく過ごせる場所になりました。正直なところ苦労はありますが、自分も元気になるし、やりがいを感じますね。

グッドポイント 1

誰でも参加できる「子どもは誰でも無料の食堂」を実現

グッドポイント 2

学校や年齢の枠を超えた子どもの居場所づくり

グッドポイント 3

プログラミング教室を開催、子どもの可能性を広げる場へ進化



ひとりぼっちのご飯を無くしたい！

子どもは 誰でも 無料の食堂



あったかキッチン水元

あったかキッチン水元は、子どもは誰でも無料の食堂（子ども食堂）です。開催は毎月第2金曜日午後5時～6時半で、NPO法人ATTA K Aが運営しています。

水元地区の飯塚小学校・幸田小学校・水元小学校等の児童が、多い時は100人ほど来てくれて、楽しく過ごしています。他校の児童やボランティアの大人との交流が良好な刺激となって、子どもたちの成長にもつながり、保護者同士の交流の場にもなっています。

始まりは、民生委員のなかで「様々な事情で食事をとることができない子どもがいる」と話題になったこと。他にも両親が共働きなどでいつも一人で食事をしている子どもや、親が病気で介護をし

ている子どもがいます。このような子どもたちに息抜きの場を作ってあげたいと平成28年に活動を開始しました。

食堂の他に、月2～3回キッズ向けプログラミング教室なども行っています。コミュニケーションが苦手な子どもでもゲームをつくることで自信を付け、互いに教え合ったりしています。計画性も身に付くと、保護者にも好評です。その他、コロナ禍には夏休みなどの学校給食がない長期休暇にお弁当を各家庭に届けるなど、子どもたちの見守りや支援をしています。



コロナ禍でのおにぎり等の配布

関連する主なSDGsゴール





会のはじまりは ととけっこう♪から



日本語のすばらしさを“わらべうた”で

0～2歳児に伝える、読み聞かせ活動

ととけっこう
の皆さん

INTERVIEW

わらべうたは わが子へのすばらしい贈り物

代表
みやき ふみ子さん

前代表
やまうら けいこ
山浦 敬子さん

0～2歳の乳幼児は、親から言葉を学びます。親が愛情を持って言葉を教えるのに、わらべうたが最適なんです。どの歌も2拍子でやさしいリズム、この2拍子が子どもの気持ちを落ち着かせるんです。

赤ちゃんは言葉の意味はわからないから話しかけない、という人もいますが、わらべうたなら意味がわからなくても親子で一緒に楽しめます。子どもたちも覚えて

歌い出しますよ。そうやって言葉を覚えていくんです。わらべうたは、わが子へのすばらしい贈り物。ぜひ魅力を知って欲しいです。

また、わらべうたは何度でも繰り返して歌うことができる点もすばらしいんです。なかなか泣き止まない、なかなか寝てくれない、そんなときに、繰り返し歌ってみてください。

わらべうたには、子育てを助ける知恵も備わっているんですよ。

グッドポイント 1

わらべうたを使って
親子の絆を深める

グッドポイント 2

日本語のすばらしさを
わらべうたで伝える活動

グッドポイント 3

令和5年度から、にじゅうく
地区図書館にも活動の場を
広げる

「ととけっこう、よがあげた」※、2拍子の素朴なメロディーの歌声が、中央図書館の会議室に響きます。0～2歳の小さな子どもと親たちの楽しそうな声…。

毎月第3金曜日の午前中に開催されている「わらべうたと絵本の会」です。読み聞かせというよりは、親子で「わらべうた」を一緒に歌って遊ぶ40分、毎回10曲を超えるわらべうたを歌っています。

実はこの会は、親からわが子へ、日本語のすばらしさを音・リズムで楽しく伝える場となっています。運営しているのは、読み聞かせボランティアグループ「ととけっこう」です。中央図書館が平成27年度に開催した「読み聞かせ

ととけっこう

ボランティア講座（乳幼児編）で、わらべうたや絵本の読み聞かせを学んだ受講生がグループを結成しました。

中央図書館のほか、令和5年度から毎月第1水曜日に、東京かつしか赤十字母子医療センター内にある、にじゅうく地区図書館でも活動しています。

参加者たちからは、「赤ちゃんだけでなく親も癒される」、「親子の絆が自然と深まる」などと好評です。

※わらべうた「ととけっこう」の歌詞。
ニワトリの朝鳴く声を表したものです。



関連する主なSDGsゴール





地域別環境問題懇談会での司会



ごみ減量キャンペーン
まちかどでの啓発活動



西側の美化を支える
婦人部会の皆さん

婦人部会の力が、葛飾の美化清掃を支える！

まちの「清掃関連情報」の伝道師

INTERVIEW

を続けると

生ごみ・ひと絞り 年間約2億円削減！
身近な声かけでまちを美しく



部会長
たじま みつえ
田島 美津江さん(奥戸)



副部会長
みつみ 敏子さん
(四ツ木)

副部会長
にしやま けいこ
西山 桂子さん
(新小岩北)

先日の婦人部会役員会で「水分が多い生ごみは、各家庭でひと絞りするだけで区のごみ処理経費約2億円の節約に繋がる」と区の方から聞きました。じゃあ、皆さんにお伝えしなきゃ、「ひと絞り2億円よ」と(笑)。清掃関連情報は買物の時などを活用し、こまめにコツコツ周りにお伝えしています。

外国人住民の方も増えていますが、ごみ出しの仕方を知らないことが多くて。

そんなときは区が発行している4か国語のごみ出し案内リーフレットを渡して、身振り手振りで説明しています。

地域の方も非常に協力的で、自主的にごみ掃除などをしてくれています。地道に伝えてきたことに応えてくれる人がいて、以前に比べて本当にまちがきれいになりました。

このように婦人部会が伝え続けて、まちをきれいにしていることを、私たちは誇りに思っています。

グッドポイント ①

住民にこまめに声をかけて
ごみ問題の知識を広める

グッドポイント ②

4か国語のごみ出し案内の
リーフレットを駆使して、外国人
住民の方にも積極的に周知

グッドポイント ③

清掃関連のイベントに地域
住民の方が参加するよう声
かけをする

現在区内には約2万9000カ所のごみ集積所があります。生活環境を清潔に保つため、地域住民に清掃に関する知識や情報の普及に努めている方々がいることをご存じですか？西側の葛飾清掃協力会と、東側の葛飾東清掃協力会の婦人部会の皆さんです。葛飾清掃協力会婦人部会は、区の西側の立石等12地区から1名ずつの委員で構成され、活動しています。



ごみ減量キャンペーンで
啓発グッズを配布

をしている人もいます。また、葛飾清掃協力会情報紙「ごみゼロかつしか」(年2回刊)を発行し、新しい情報を住民の皆さんに知ってもらうよう努めています。その他、5つの地区に分かれて地域別環境問題懇談会を開催しています。参加者は、ごみ減量の大切さや資源とごみの正しい分別などを学び、疑問に思っていることを区の職員に聞いています。婦人部会の皆さんは、長年住んでいる住民ならではのきめ細かなフォローで、区の美化に大きく貢献しています。

関連する主なSDGsゴール





東側の美化を支える
婦人部会の皆さん

ごみは資源、資源は宝！

リサイクルにも積極的に取り組む！



INTERVIEW

感謝の気持ちが湧いてくる 清掃施設見学会が大人気



部会長
すずき きょうこ
鈴木 恭子さん(高砂)



副部会長
いまだ みか
今田 美加さん
(東金町)

副部会長
くろさわ とみこ
黒沢 富子さん
(金町)

中央防波堤埋立処分場で、ごみ分別の様子を見ると泣けてきますよ。例えば、ベッドのマットは金属ばねと綿などを手で仕分けていて重労働！これを毎日している人がいる、もう感謝、感謝です。委員として何回も処分場に来てますが、“ごみじゃないです、資源・宝です”と毎回痛感、自分たちも日々頑張ろうと感じさせられます。

今の子どもたちは、ごみ問題を学校で

習っているからいろいろ知っていて、夏休み親子施設見学会で知識を披露するんですよ。それを聞いて親世代が勉強しています。昔はごみ問題に関心がない人も多かったけれども、少しずつ変わってきましたね。

ごみ集積所は、汚くしているとドンドン汚れてしまいます。だから常にきれいにし、自分たちが模範になろうと思ってます。婦人部会だけでなく、みんなで取り組めれば最高ですね。

葛飾東清掃協力会婦人部会

葛飾東清掃協力会婦人部会は、主に区の東側のまちを美しく保つため、清掃に関する知識や情報を住民の方々へ広めています。高砂等7地区から9名の委員で構成され、活動しています。

主な活動の一つとして、清掃関連施設を見学する清掃施設見学会を年3回行い、清掃に関する最新情報を学んでいます。中央防波堤埋立処分場(東京湾)で、限りあるごみ処分場の現状について、小学生の子どもたちと一緒に学ぶ夏休み親子施設見学会や、自治町会の皆さんと一緒に行く施設見学会などを実施しています。また、葛飾東清掃協力会情報紙

「ごみスリム」(年2回刊)を発行し、ごみ減量やリサイクルを推進しています。

その他、会長の鈴木恭子さんとご近所の皆さんのアイデアで、高砂の一部地域では、ごみ集積所に買物カゴでリサイクルセンターをつくりました。まだ使える、いらないものを必要な人が自由に持っていけるようにしており、もったいない、解消にひと役買っています。『ごみは資源、資源は宝』を合言葉に、婦人部会の皆さんが行政ではフォローできない細かな部分を支え、区の美化に大きく貢献しています。

施設見学会の様子



関連する主なSDGsゴール



グッドポイント 1

ごみは「資源・宝」の意識を普及

グッドポイント 2

年3回の清掃関連施設見学で清掃に関する最新知識を学ぶ

グッドポイント 3

地域住民へ清掃関連の知識や情報を広める



産業フェア
乳がん啓発キャラクターも
踊りに参加!



テレビ取材で、より多くの人にPRできました



モンチッチとコラボ!



乳がんの“早期”発見・治療の大切さを広める

INTERVIEW

家庭でも職場でも気楽に
乳がんについて話せる社会にしたい

啓発推進グループ
アシスタントマネジャー
さとい あい
里井 愛さん



乳がんについての話は深刻になりがちなので、「ピンクリボンフェスティバル」ではなるべく明るく関心を持っていただけるよう、アイデアを凝らしています。

葛飾区さんには、モンチッチの銅像にピンクのスタイをつけるアイデアを受け入れてくださって感謝しています。

また、産業フェアでは、子どもたちが素直に関心をもってくれたのが良かったです。子どもからお母さんに、検診へ行った方がいいよと言われてもらえるのなら、こんな

にうれしいことはないです。

まだ、乳がんは女性だけになるものといった偏見や、なったら職場や家族にも言いづらいといった状況があります。

がんは誰もがなりうる病気で、いまや死に直結する病気ではありません。正しい知識を持つことで大人や子ども、男性女性関係なく、ごく普通の話として話せるようになってほしいと願っています。

グッドポイント 1

新小岩のモンチッチ銅像に
ピンクのスタイをつける
アイデアで多くの人に周知

グッドポイント 2

産業フェアへ参加し
普及啓発活動を実施

グッドポイント 3

最先端の考え方「プレスト・
アウェアネス」の普及活動

公益財団法人
日本対がん協会

日本対がん協会は、「がんで苦しむ人や悲しむ人をなくしたい」と、がんに関する正しい知識の普及啓発に取り組んでいます。

令和5年10月の乳がんの早期発見・適切な治療の大切さを伝える「ピンクリボンフェスティバル」の街頭キャンペーンでは、新小岩駅前のモンチッチの銅像にピンク色のスタイをつけて、乳がんの早期発見の大切さをアピールしました。モンチッチとの写真撮影会も行われ、テレビ取材も入って、キャンペーンは大盛況。多くの人が関心を持ってきて、広く啓発することができました。

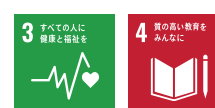
また、同年の産業フェアのステージでは、乳がんの早期発見のためのプレストチェックを呼びかける

※モンチッチは、
世界中で愛されている、葛飾
区ゆかりのキャラクターです。

©Sekiguchi



関連する主なSDGsゴール



「ピンクリボン音頭」を披露。ブースでは、啓発パンフレットやバッジの配布を行い、大人だけでなく、小学生の子どもたちからも多くの関心を集めました。

このように毎年10月を中心にプレスト・アウェアネスの普及に努めています。プレスト・アウェアネスとは、普段の状態を把握し変化があればすぐ受診する、40歳以上は2年に1回乳がん検診を受けるという生活習慣のことで、国も推奨しています。

乳がんで命を落とす方を1人でも減らせるようにと、同協会は意欲的に活動しています。



呼吸・筋肉・つばを意識しながら動きます



健美操リーダーの会の皆さん



ゆったり、簡単、でも効果大！

“健美操”リーダーがシニアの健康を支える



INTERVIEW

健やかに美しく自分をコントロール
病気知らず、元気になって、脳も活性化！

リーダー1期生
おおしま ようこ
大嶋 洋子さん

健美操は、呼吸・身体・精神の3つの調和が大事です。息を調え、内臓を調える、そうすると心身も調って、楽しくなります。

健やかに美しく自分をコントロールし、日々のストレスに負けない自分をつくるという体操です。東洋医学、呼吸法、運動生理学等に基づいてつくられており、理論が深いんです。それがわかりやすく伝わるよう、やさしい言葉に置き換えて伝えています。

はじめは意味がわからずに身体を動かすので、スゴさもわからない。それでも続けていくうちに、身体のゆがみ、ズレをゆめて正す、それで身体が調うということがわかってきます。そうするとみんなやる気になりますね。私なんかずっと病院知らず、元気です。脳も活性化しますよ！

会の皆さんは、みんな勉強熱心で一生懸命ですから会うのが楽しみです。健美操の実践者が、1人2人と増えていくのも、勇気づけられてとてもうれしいです。

グッドポイント ①

シニア活動支援センターとにこわ新小岩で好評開催

グッドポイント ②

健美操リーダー養成講座を修了したボランティアが進行

グッドポイント ③

椅子に座ったままできる体操のため、気軽に参加できる

けんびそう
健美操リーダーの会

「健美操」は筋肉や五臓六腑に関わる経絡・経穴（つば）を意識しながらゆったりと動く、東洋医学や多種多様の呼吸法、現代運動生理学を取り入れた体操で、身も心も深いリラクゼーションを得ることができます。区の健美操講座では、シニアの方が取り組みやすいように、椅子に座ったまま行える体操を実施しています。

健美操講座の進行役を務めるのは、「健美操」の理論と実践を学んだ「健美操リーダーの会」の皆さんです。

区は平成29年度から健美操リーダー養成講座を開催。現在は1期生と2期生が、勉強会を開くなど互いに技術を磨きながら、リーダーとして活動しています。



経絡・経穴（つば）についての解説

関連する主なSDGsゴール



シニア活動支援センターで行っている健美操講座では、毎回50人以上の参加者が集まり、「動きが楽になった」「開催が楽しみ」などと大好評です。

にこわ新小岩の講座では、講座終了後に参加者からの「今後も継続してほしい」という声により、自主グループが立ち上がりました。「身近な場所に参加できて嬉しい」と声があがっています。

このほか、ふれあい銭湯事業でも実施するなど、活躍の場がさらに広がっており、シニアの健康づくりに大いに貢献しています。

童謡「ふるさと」などを
手話ソングで♪



運動で体がほぐれて
きもちイイ！

サロン活動実施中
地域のみなさんの居場所
小地域福祉活動立石

INTERVIEW

「この前は楽しかった」と言われると
何回でもやろうという気持ちになります

委員長
すがの たけし
菅野 武さん

誰でも気軽に集まれるように立石を4つに分けてサロン活動を行おうと思っていましたが、令和3年はコロナ禍で人とふれあってはいけない状況。私たちの活動は、人とのふれあいを目的にしているので、さてどうしたものかと…。何とか工夫して活動を続け、令和5年には3回開催し、「次はいつやるの？」と言われるまでになりました。とっても嬉しいことです。

特に人気があるのは、「おしゃべりタイム」。何を話してもいいのですが、これが本当に面白くて話が途切れ

ません。街で出会うと、「この前は楽しかった」なんて言うってもらうこともあり、そのような声を聞くと何回でもやろうという気持ちになります。

民生委員には、「おせっかい」大歓迎という気持ちがあります。その「おせっかい」ができるのが立石。これを大きく広げていくのが小地域福祉活動だと思えます。これからは居場所づくりを通じて、「おせっかいの輪」を広げたいと思っています。



ほうじょうりょうこ
北條 良子さん

くらもち しゅんじろう
倉持 俊次郎さん

副委員長
せわめ かずこ
澤目 和子さん

タッチ会リーダー
くらしな みなこ
倉品 美奈子さん

げんき会リーダー
いちむら かずゆき
市村 和幸さん

グッドポイント 1

コロナ禍で、感染対策をはじめ、工夫を凝らしながらサロン活動を継続

グッドポイント 2

参加者が身近な場所で気軽に参加できるようにさまざまな工夫

グッドポイント 3

福祉のまちづくりをめざして幅広い関係機関が連携・協働

立石に誰もが気軽に知り合える場を！

「ふれあう・ささえ合う・助け合う」まちづくり

いつも楽しい
おしゃべりに
花が咲きます！

小地域福祉活動立石

小地域福祉活動立石は、立石地区に住む方々が身近な場所で気軽に参加できる「居場所づくり」を目的に活動しています。

活動を始めた平成28年は、立石地区の敬老イベントで困りごと相談や体力測定などを行って行きました。参加者から「もっと近くで行ってほしい」と要望があり、令和3年から4つの地域で、より身近な居場所づくりをめざしてサロン活動を始めました。

最初に本田町会・立石南町会・梅田町会区域の地域サロン「タッチ会」を立ち上げました。サロンでは、新聞棒を使って体をほぐす健康体操や手話ソングで簡単な手話を学びます。気軽に参加しやすいと好評です。



関連する主なSDGsゴール



令和4年には、立石西町会・立石仲町会・立石友和町会区域の「げんき会」を開催。昔を懐かしみながらトランプゲームをしたり、おしゃべりを楽しむ時間も設けられ、参加者同士が楽しく交流できる工夫もされています。

さらに令和5年は、新たなサロン活動を検討しています。

小地域福祉活動立石は、町会や民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会などが連携・協働してさまざまな活動を展開し、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりをめざして、これからも活動していきます。



町会が主体となって実現

移動販売で年配者の“買物困難”を助ける！

INTERVIEW

「移動販売車が来て、助かりました」の声、声…
生まれ育った地域に、恩返しできてうれしい！

町会長
いしかわ とみお
石川 富雄さん

今年の夏は記録的な猛暑だったからね、年配の方たちから「近くで買物できて楽です、助かりました」とか、「移動販売の日には散歩がてら通っているよ」と言われて、やって良かったなあと思います。

移動販売のオープン記念式典では、たくさん人が集まりました。区役所の方だけではなく、新聞やテレビ等のマスコミも来ましてね。自分も初めてテープカットを体験

したりして、開店まで長かったので想いひとしお、嬉しかったです。

この辺は、自分が子どもの頃は100世帯ぐらいだったけれど、今や1,340世帯と10倍以上になって、移動販売車が駐車できる空地が見つからず困っていました。ようやく今の場所を使えることになった時は、本当にありがたかったですね。

子どもの頃から住んでいるから、この土地に愛着があるんです。地元への恩返しになればと思っています。

グッドポイント ①

年配の買物困難者などのちょっとした買物をサポート

グッドポイント ②

町会が主体的に行動し、地元の課題を解決！

グッドポイント ③

移動販売の場所がコミュニケーションの場になった

高砂一丁目町会

高砂一丁目町会は、区域初の「日常の買物が困難な方への移動販売」を、町会の力で成し遂げました。令和5年2月から、諏訪野八幡神社境内に、毎週水・金曜日の正午から午後2時まで、コンビニの移動販売車がやってきます。パンや弁当、飲み物、お菓子など、一部を除き店頭と同様の品ぞろえで、運営しているのはセブンイレブン高砂店です。

高砂一丁目の区域は、長らく小売店がない地域でした。中川と新中川の間に挟まれており、日々の買物に青砥駅近くまで行くには長さ640メートルの青砥橋を越えていかねばなりません。しかも太鼓橋で弓なりの勾配があるため、車を持たない年配の方が野

菜などの重たい荷物を抱えて歩くのは、とても負担になります。この状況を何とかしたいと考えた町会長の石川富雄さんは、区と相談しながらこの問題に取り組みことに。町会長自らコンビニ店代表者と交渉し、移動販売の実現にこぎつけました。

移動販売は、歩行が困難になり始めている方や車を持たない方など、特に高齢者に好評です。同じ時間に集まることで、おしゃべりの場にもなって、地域のコミュニケーションを促進させています。まさに「町会」が主体となって、地域課題を解決する好事例です。



商品約350種を
積んだ軽トラック

関連する主なSDGsゴール



＼ 選べる相談方法 /

面談

電話

オンライン



INTERVIEW

気軽に相談に来てほしい！

“親しみやすい弁護士”が葛飾の伝統であり自慢です

理事長 弁護士
いじゅういん たけし
伊集院 剛さん

葛飾弁護士倶楽部は、先輩後輩の垣根を越えて率直に意見を交わすことができ、本当に居心地がいいです。下町である葛飾の人間性もあるのかもしれない。

区民のために無料の法律相談を中心に活動していますが、もともとは弁護士同士の親睦を深めるためなどに始まった会なんです。年1回、総会を兼ねた旅行へ行ったり、1月に新年会を行うなど、区内

の弁護士と仲良くなれて情報交換が気楽にできるのが、とてもありがたいです。

この法律相談だけでは、時間の都合上、その場で全てを解決することは難しいですが、相談者の方から「すっきりしました」とか「何をしたらいいのか分かりました」と言ってもらえると、お悩み解決の糸口になれたかなと思って嬉しくなります。

法律相談には、女性専用の日も設けるなど、なるべく相談しやすいようにと工夫しています。気軽に利用してほしいです。

グッドポイント ①

毎日、区役所で無料相談
毎月1回、早朝・夜間も対応

グッドポイント ②

他の自治体に先駆けて
電話やオンラインでの
相談にも対応

グッドポイント ③

全国に先駆けて災害時の
法律相談に関する協定を
区と締結



葛飾弁護士倶楽部

葛飾弁護士倶楽部は、区内に法律事務所または住所をもつ弁護士の親睦団体で、現在の会員数は約50名です。区民のための無料の法律相談を昭和26年頃から続けています。

平日は毎日、午後1時から4時40分までの間、区役所の区民相談室で実施。相続や離婚、借地借家、金銭トラブルなどの悩み事に対して法的なアドバイスをしています。面談だけでなく、電話やオンラインなどでも相談できる環境を整えています（要予約）。

さらに、区民の皆さんの需要に応えようと、第1木曜日は午前8時40分から早朝の相談を、第2水曜日は午後7時20分までの夜間相談をそれぞれ開始しました。



葛飾区役所2階で平日開催

関連する主なSDGsゴール



これに加え、年1回、土曜日に法律相談を受けたり、休日に他の士業団体と一緒に相談会を開催するなどしています。他自治体には例がなく好評です。

また、平成11年には、阪神・淡路大震災を教訓に、全国に先駆けて災害時の法律相談に関する協定を区と締結しました。これは、災害時における被災者の心理的負担を解消しようとする先進的な取組です。

このほか、人権擁護や空き家対策、個人情報保護、児童相談など、様々な問題解決に大きく貢献しています。



北エリアを盛り上げる

検討部会の皆さん

※写真の方以外の部会員は御覧の皆さんです。

松本 八郎さん/町山 光司さん
犬飼 晴明さん/細井 操さん
竹本 利昭さん/小黒 軍治さん
福島 信一さん/元川 昭二さん
相馬 太一さん
平野 陽一さん

ひぐち ただかず 樋口 理一さん
すざき たかあき 須崎 隆昭さん
さかうえ よしはる 坂上 義春さん
あらかわ としお 荒川 利夫さん
あおやぎ いさむ 青柳 勇さん
とらがぐち けいしゅう 寅ヶ口 敬祥さん

INTERVIEW

“地域のつながり”が広がる活動を継続して、賑わうまちづくりを!

社会実験イベントでの発見は、地元店が出店すると「近くにこんな店があるって、初めて知った」というつながりができることです。毎月イベントを行うと、中学生などの子どもたちが友達を連れてきたり、しばふひろばで周りの子に声を掛けて遊んだり、イベント後の掃除なども自主的に手伝ってくれるんですよ。自然な形で“地域のつながり”ができることに感動しました。

どうすれば人が集まるのか、“賑わい”につなげていけるのか、見えてきていますよ。私達自身、この活動を始めて普段会うことがない他の町会の方や意欲的な人たちとの出会いがたくさんあって良かったです。

活動を継続することで、地域のつながりが広がり、更なる賑わいの向上になると実感しました。将来、南地域と更に連携していきたいと感じています。

グッドポイント ①

社会実験イベント「あそびばプロジェクト」企画・運営

グッドポイント ②

大人、子ども、お店が“自然とつながる”コミュニケーション活性化に成功

グッドポイント ③

資金やノウハウ等で自立した地域主体の“地域活性化”を行うための組織化をめざす

新小岩北 エリアマネジメント検討部会

新小岩北エリアマネジメント検討部会は、新小岩駅周辺地域の価値向上などを目的とした、賑わい創出につながる活動を区と協働して行っています。

部会員は新小岩北地域まちづくり協議会から選抜された16名。将来的にはエリアマネジメント※組織を立ち上げ、収益と支出のバランスをとりながら、持続的にまちに魅力と活力を生み出していくことをめざす新しい取組です。令和5年度は、賑わいの創出に効果的な取組を模索するため、6月から11月まで月1回、社会実験イベント「あそびばプロジェクト」を北口駅前広場と東北広場、スカイデッキたつみで実施しました。地元の信用金庫からも協力を

得て、子どもたちが自由に遊べるように人工芝を敷いて広場をつくったり、新小岩北エリアのお店による飲食や雑貨等のチャレンジ出店などを行いました。

また、ストリートピアノを置いて、音楽で人々が自然と集まる空間をつくったり、地元店舗や地域活動をデジタルサイネージで発信・周知し、将来の広告事業への可能性を探る実験も行いました。

今後は、イベント実施の結果や課題を踏まえて、取組の検討を行います。さらに、エリアに関わる多様な立場の人や地元企業などとの意見交換の場を立上げ、エリアマネジメント組織の設立をめざすなど、日々奮闘していきます。

※エリアマネジメントとは、地域自らの課題の解決やエリア価値の向上をめざし、地域が主体的に行う取組のこと。

関連する主なSDGsゴール





何にしよう!

さまざまなブースが並びます!

バイオリン & ギター演奏
(yo-zo&kanaco)

ひろせ まさみつ 廣瀬 昌光さん
いとう まさよし 伊藤 雅良さん
せき かずお 関 一男さん
すが よしあき 須賀 慎章さん
ほしの きよひと 星野 聖人さん
あさおか じゅんいち 浅岡 純一さん

南エリアで奮闘中!
検討部会の皆さん

INTERVIEW

持続可能な活動の仕組みを構築中、きっとできると信じています!

新小岩は東京駅に近い好立地な場所、もっと有名で魅力的なまちにしたい! そんな想いの強いメンバーで、結束力があるのが自慢です。みんな新小岩が大好きだから、今度は自分たちが盛り上げていくんだという気持ちがあるんです。

今の若い世代は、社会参加にも関心のある住民がいっぱいて、そういう人たちがまちづくりに参加しやすくなるようにしたいと思います。今回の活動を通じて、新

たに活動に参加してもらえた方がいるので、今後もさらに輪を広げたいと思います。

こういう活動はボランティアが当たり前で、販売する焼そばは200円とか、利益度外視で安くなければダメという思いこみがあるので、それを意識改革して、きちんとお金をとってビジネスとして成り立つようにする。それがこれから未来が開ける、持続可能な方法でしょうね。きっとできるようになると信じています。

グッドポイント ①

社会実験イベント「親子ガーデン」の企画・運営

グッドポイント ②

新小岩南エリアにある商店会等の次世代リーダーが活動を支える

グッドポイント ③

資金やノウハウ等で自立した地域主体の“地域活性化”を行うための組織化をめざす



住民の手でまちを潤し、仲間を集める

合言葉は、新小岩駅をもっとメジャーに!

新小岩南 エリアマネジメント検討部会

新小岩南エリアマネジメント検討部会は、新小岩駅周辺地域の価値向上などを目的とした、賑わい創出につながる活動を区と協働して行っています。

部会員は新小岩南地域まちづくり協議会から選抜された6名。現在は、コンサルタントや地元信用金庫の協力を得て実験的にイベントを行っています。将来的には自分たちで、収益と支出のバランスのとれた活動ができるように実験を重ねています。

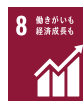
令和5年度は、6月から11月まで月1回、社会実験イベント「親子ガーデン」を新小岩駅南口駅前広場で行いました。毎月テーマを変え、長時間の滞在や親子の参加を狙った和太鼓体験やハンドメイ

ドのワークショップなど参加型の催しを企画。地元の飲食店やキッチンカー、雑貨販売など、バラエティに富んだ出店を行いました。このほか、人工芝を敷いて子どもを中心にくつろげるエリアをつくったり、バイオリン&ギターの生演奏、縁日など、様々な企画を実施しました。

今後は、検討部会のメンバーに加え、社会実験を通してつながりのできた方や地元企業等にも声掛けをして新たな仲間を集めながら、エリアプラットフォームを立ち上げ、まちの活性化に向けて計画・検討を行っていくという次のステップに進んでいきます。

※エリアプラットフォームとは、エリアに関わる多様な立場の人が集まってエリアの将来像や課題解決について話し合う議論の「場」のこと。

関連する主なSDGsゴール





こちら葛飾区イノベーション発生所では
セミナーやサッカーなどで国際交流しました！



将来の力士が
誕生するかも!?
わんぱく相撲
葛飾区大会



INTERVIEW

地域への社会貢献活動で
人生で最高の経験ができました！

委員長
こばやし たつや
小林 達也さん

「わんぱく相撲」で、子どもたちが真剣に立ち向かっているのを見て、心の底からやっていた良かったと感動しました。負けると涙したり、来年度こそ勝つと言っているのを聞いたりしまして…大会の準備には、すごく苦勞をしましたが。私は東京の西側の会社に勤めているので終業後、葛飾区に移動して仲間と合流し、徹夜続きで準備を進めてきました。若くないとできない、

けれど得難い経験、信頼し合える仲間ができました。仕事との両立は正直大変でしたが、会社でも時間の使い方がうまくなって、部下に任せることができるようになりました。

私のような会社員のJC葛飾会員は珍しく、多くは次世代経営者の方たちです。なので、区内の多くの人と顔がつながり、成長できました。ぜひ若い世代の方に、JC葛飾に参加していただき、この感動を知ってもらえると嬉しいです。

グッドポイント ①

「わんぱく相撲葛飾区大会」をボランティア運営

グッドポイント ②

「こちら葛飾区イノベーション発生所」で、社会課題の勉強会を実施

グッドポイント ③

地元のコミュニティの活性化を推進する社会活動



JC葛飾の皆さん

積極的に地元とつながり

若人の育成やコミュニティ活性化を担う青年集団

公益社団法人
東京青年会議所 葛飾区委員会

東京青年会議所葛飾区委員会（以下、JC葛飾）は、「明るい豊かな社会の実現」をめざし、社会貢献活動を行っています。
令和5年は5月に「第46回わんぱく相撲葛飾区大会」を区と協働で行いました。この大会では小学生が学年ごと、男女別に競い合います（幼児相撲も同時開催）。
小学4年生から6年生の男子優勝者は都大会へ進み、両国国技館で行われる全国大会をめざします。スポーツを通じた子どもたちの育成と地域コミュニティの形成に重要な役割を担っています。
同年7月には、社会課題の勉強会「こちら葛飾区イノベーション発生所」を開催。「国際交流とイノベーション」をテーマに、中小企業



参加者
交流の
様子

こちら葛飾区イノベーション発生所

関連する主なSDGsゴール



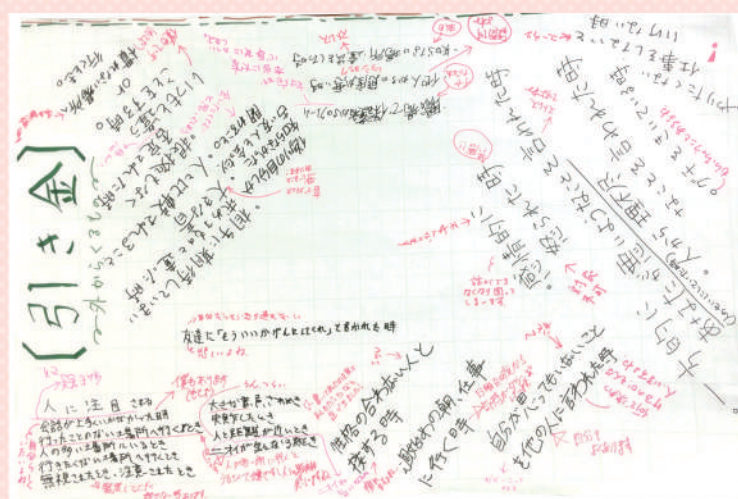
経営者や地域住民を対象にした外国人雇用の効果や雇用方法についてのセミナー、ウクライナ避難民の現状についての講演、小学生を対象とした国際サッカー交流などを行いました。
委員長の任期は1年。そのため毎年新たな委員長がイベント運営に挑戦し四苦八苦、大いに奮闘します。このことが区内の若手リーダーの育成に役立っています。
JC葛飾は、産業界や地域の団体等と協働で、積極的に地域に根差した活動を行って、地元とのつながりをつくり、郷土愛を育んでいます。



金町WRAPをサポートする
公認心理士・福田由美子さん



グループワークの様子



ラップ
【WRAP】…Wellness(元気)、Recovery(回復)、Action(行動)、Plan(プラン)の頭文字。精神的な困難を抱えた人たちが、気分を乱すような状況への気づきを高め、調子が悪くなったときに回復を促す「自分で作る自分のリカバリープラン」。アメリカの精神障害をもつ人たちに
によって構築され、世界中で活用されている。



INTERVIEW

「自分の元気は自分でつくる」
お手伝いをしています

代表
こんどう かつひこ
近藤 勝彦さん



参加者
みずまち みちる
水町 倫瑠さん

参加者はみんな優しい人たちばかりです。

私たちの活動は、「自分の元気は自分でつくる」という考え方を基本にしています。それを見つけ出すためのお手伝いだと考えています。例えば、自分の思いを上手に伝えられなくて人間関係がうまくいかず、体調が悪くなってしまうことはありませんか？誰でもそんなときがあると思います。そんな苦しみから楽になる方法は、実は自分のなかにあります。私たちの会でそれを見つけてください。待っています。

金町WRAPは、年齢や障害の有無に関係なく誰でも参加できます。参加するには、批判をしない、怒らないなど簡単なルールがあります。みんなそれを守って、若い人から60代後半の人までお互いを受け入れて、安心して話せる場となっています。

日常生活で辛く感じるがあっても、「あきみつサロン」に来てくれれば、新しい考えを持った自分に生まれ変われますよ。

グッドポイント ①

生きづらさを抱える方だけでなく、誰でも参加できる

グッドポイント ②

WRAPなどの心理療法を行い、自己回復を手助け

グッドポイント ③

交流のための楽しみ会をみんなで考え、開催

生きづらい悩みをわかちあう

無理せず、少しずつ、つながれる場“金町WRAP”



金町WRAP
ラップ

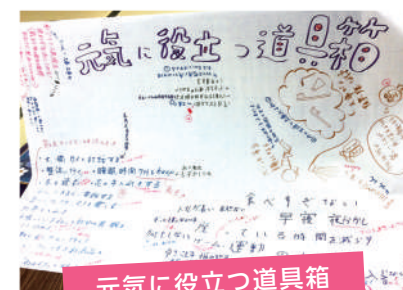
金町WRAPは、アメリカで生まれた「WRAP」(元気回復行動プラン)の考え方をもとにして、自分で自分の元気をつくっていく活動をしています。

定例会は、毎月最終土曜日の午後4時半から、東金町にある「ふれあいサロンあきみつ」で開催。生きづらさを抱える方をはじめ、「自分の元気を自分でつくり出したい人」や「人とつながりたいと思う人」など、誰でも参加できます。

定例会では、心と身体の健康を維持するために、自分の状態を知って対処する方法を身に付けられるよう、グループワークなどを行います。例えば、「元気に役立つ道工具箱」では、1枚の大きな紙に、参加者は自分が元気になる方法

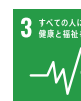
を書き、みんなで分かち合います。このワークでは、他の人の話を聞くことで視野が広がり、自分の気にしすぎなことや怒りを覚えるポイントに気付けると好評です。公認心理士の福田由美子さんのサポートにより、参加者の多くが悩んでいたことの整理ができ、心が楽になったと言います。

定例会以外にも、クリスマス会などの交流会も行っています。平成28年度から始まったこの会は、区で生きづらさを抱える方々にとつてなくてはならない、人と安心してつながれる場々となっています。



元気に役立つ道工具箱

関連する主なSDGsゴール





小中学生を対象にしたジュニア講習会には
毎年約100人もの子どもたちが参加します！

シニア健康交流会の様子



INTERVIEW

手軽で気軽、そして健康にいい、
仲間がいっぱいできて楽しいです！



理事長
たじま こうじ
田島 浩二さん



ごとう てるお
会長 後藤 昭男さん

私たちの学生時代は、ソフトテニスが大
人気でした。そのまま大人になって今でも
続けています。運動不足解消にも、気楽
にやれていいんです。

葛飾区は教職員の方が熱心だし、小中
学校にもソフトテニスの設備がちゃんとあ
るんですよ。校庭のコートを借りる料金も
安いから、PTAの方とかも参加して、子ども
とお母さんが一緒にという感じで広まっ

ていくんです。昔やってた人も多いから、
始めると仲間がいっぱいできる楽しさ
があります。区内には、地域ごとにテニスク
ラブがあるので、気軽にできる環境があ
るのもいいですね。

今はシニアの方もクラブを結成したりし
て、高齢者の愛好家も多いです。ぶつかり
あうスポーツじゃないから、怪我も少ない。
ボールがラケットにあたったときの感触
が気持ちいいですよ。ぜひ、挑戦してみ
てください。

グッドポイント 1

「区民体育大会」の大会
準備や運営に従事

グッドポイント 2

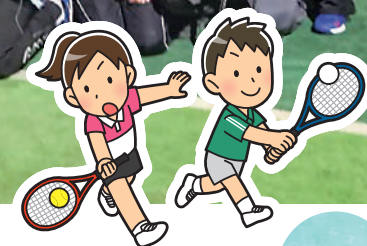
「かつしかスポーツフェスティバル」
でソフトテニス教室開催

グッドポイント 3

区内ソフトテニスの競技
人口の増加に貢献



明治時代・日本生まれの“ソフトテニス”
子どもからシニアまで楽しんでいます！



葛飾区ソフトテニス連盟

葛飾区ソフトテニス連盟は、区
内のソフトテニス競技の普及や競
技力向上に向けて活動しており、
23のソフトテニスクラブが所属し
ています。

ソフトテニスは、139年（令和
5年現在）の歴史を誇る日本で生
まれ育ったスポーツです。明治初
期にローンテニス（硬式）が伝来
した際、ゴムボールを使用する日
本独特のテニス（軟式）が考案さ
れました。区内では、中学校の先
生方が中心となってソフトテニス
を地域に広めました。

主な活動は、「区民体育大会・区
民スポーツ大会」で行われるソフ
トテニス大会です。参加者のとり
まとめや、大会準備から当日の運
営までを担当しています。1年を

2期連続優勝 /

墨東五区ソフトテニス大会 2023



関連する主なSDGsゴール



通じてジュニアからシニアまで、
学年別や個人戦、団体戦などがあ
り、大忙しです。当日は子どもか
ら高齢者まで、たくさんの方参加
が腕を競っています。

また、「かつしかスポーツフェス
ティバル」では、初心者向けソフト
テニス教室を開催しています。初
心者の子どもたちが、初めてボー
ルを打ち返せたときに見せる笑
顔が、連盟スタッフの大きな励み
となっています。

ソフトテニスを愛するメンバ
ーが、その楽しさを広める活動を精
力的に行っています。



地元のお店も出店♪



フリーマーケットも大人気♪

INTERVIEW

葛飾一の音楽祭をめざして
いや、もうなったかな？どうかな？(笑)

<http://music.takasa-go.com/>



実行委員長
いしかわ たくま
石川 拓磨さん

音楽の質は妥協したくないんです。だからオーディションをして、それなりのレベルにある方々に出演していただいています。出演者だけでなく、高砂音楽祭に来てくれた観客の皆さん全員に音楽を楽しんでもらいたいです。

音楽を聞いて、子どもたちが自然と踊り出したりして、嘘偽りなく心から楽しんでいるのを見ると感動します。それを毎回

やりたいし、目標なんです。

ひとつ、「イノベーションを起こす人材は若者・バカ者・よそ者」だと言われてたでしょ、自分は「若者」で「バカ者」だと思ってます(笑)。実行委員の中には、葛飾区民じゃない「よそ者」もいるんですよ。一緒に高砂を盛り上げたいと参加してくれています。

区外の人にももっと知られて、名実ともに葛飾一の音楽祭と言われるように、これからも頑張ります。

グッドポイント 1

地元の商店街と連携し、高砂音楽祭を企画・運営

グッドポイント 2

令和5年は約12,000人が来場、地域活性化に大きく貢献

グッドポイント 3

子どもも踊り出す、実力のあるミュージシャンが出演



高砂の知名度を上げるために活動16年

子どもが思わず踊り出す“音楽祭”をめざす！

高砂音楽祭実行委員会

「高砂音楽祭」は、地元ボランティアの企画をもとに、高砂の商店街と高砂音楽祭実行委員会が主催となつて、高砂北公園で毎年10月に開催される音楽祭です。

実行委員会は、「葛飾を代表する音楽祭を高砂で開催し、全国的に高砂の知名度を上げる」ことを目標として、企画が好きな有志約10名が奮闘しています。

高砂音楽祭は平成20年から開始し、令和5年は9組のミュージシャンによる演奏のほか、フリーマーケットや商店街で使える商品券競争、OXゲームなどを開催。縁日や飲食のブースが立ち並び、子どもから大人までおよそ1万2000人もの来訪者で賑わいました。ミュージシャンはオーディション

で選ばれた実力派揃い。曲のジャンルもロックやクラシック、ジャズなど幅広く聞きごたえのあるものとなっています。

また、より多くの人を集めようと、毎年「音楽×何か」のテーマを掲げ、令和4年は「音楽×ご当地ヒーロー」で、区のご当地ヒーロー「仮面の守護者ゼロング」が登場。令和5年は「音楽×地ビール」で、葛飾初のビール醸造所「きちブルイニング」が出店しました。

地域の皆さんに親しまれている公園で地元のお店などが出店し、地域一丸となつて高砂を盛り上げています。



関連する主なSDGsゴール





INTERVIEW

美味しいパンの買い回りイベントで、商店街に活気が出てうれしい！

「Jaぱんカップ」は、すごく人気があって盛り上がっています。私も妻や娘に言われて、出品しているパンを車で買い回りに行きます。これがまた美味しいんですよ！

当初、パンのテーマを決めるとき、我々はわからなくて。「テーマは焼きそばパン」なんて言ったら、パン屋さんたちから「それはパンじゃない、お惣菜です」って言われてね。チョコとかナッツがテーマになって、どうなるんだろうと思っていたら、皆さん

凄く工夫して、お店ごとに本当に違うパンがいろいろ出てきたからビックリしました。

今年度で5回目になりますけれど、値段は毎回200円から300円程度にもらっているんです。この値段でパン屋さんは採算とれているのかなって心配になるような、素晴らしいパンを作っています。

このイベントは大成功しているので、今後さらに盛り上げていきたいですね。

グッドポイント ①

参加者多数！人気イベント「かつしかグルメ選手権 Jaぱんカップ」企画・運営

グッドポイント ②

若い人たちにも各所の商店街を周遊させることに成功

グッドポイント ③

まちのパン屋さんが有名になることで、商店街に賑わいを創出



区内パン屋めぐりが新しい娯楽へと発展



「かつしかグルメ選手権 Jaぱんカップ」は、区内のパン屋さんによる「パンの葛飾ナンバーワン」を競うイベントです。葛飾区商店街連合会(区商連)と葛飾区商店街振興組合連合会(区振連)が共催して、平成31年から毎年1・2月頃に開催しています。

審査員は区民の皆さん。店舗イベントの期間中に参加店のパン屋さんを巡ったり、最終日に開催される会場イベントで食べ比べて、お気に入りのパンに投票。最も投票数の多かった「葛飾ナンバーワン」のパン店は、会場イベントで発表されます。そのほか会場は、お笑いライブやジャズライブなどで盛り上がり、参加者の舌や目を大いに楽しませています。

葛飾区商店街連合会 葛飾区商店街振興組合連合会



パンは、毎年「チョコ」や「ナッツ」&「ドライフルーツ」などのテーマがあり、参加するパン屋さんが、それぞれ工夫を凝らした逸品を考案しています。

グルメ選手権を企画した坂田副会長は、グルメの内容を決める際、パンが良いのではという意見から「じゃ、パンにしよう」と、「Jaぱんカップ」にしたそうです。

参加店も今では20店を超え、互いに技術を競い合いレベルアップ。このイベントをきっかけに、生活圏を越えてまで目当てのパンを買いに行く人が増え、見事狙いは大当たり。賑わいの創出に一役買っています。

関連する主なSDGsゴール



3. 協働の活動を支える

地域の協働の活動が安定的かつ持続的に発展できるよう、それぞれの活動者が抱えている課題を把握し、活動者の特性や事業の目的・内容等を考慮しながら、必要な支援を進めます。

推進に向けた主な取組

- 各種助成・補助金事業(葛飾区地域活動団体事業費助成金 など)
- 葛飾みんなの協働サイトの運営(再掲)
- ボランティア・地域貢献活動センターでの各種相談・セミナー など
(葛飾区社会福祉協議会が実施)



問い合わせ

政策企画課(協働推進担当)

電話 03-5654-8177

メール KYOUDOU@city.katsushika.lg.jp

FAX 03-5698-1501

「葛飾らしい協働」の輪を広げていくために

葛飾区では、区と活動者との連携に限らず、さまざまな皆様が、「地域社会を良くしよう」という思いを持って、お互いを理解・尊重しながら行う活動の全てを「協働」と位置付けています。こうした「地域社会を良くしよう」という思いを持って「夢と誇りあるふるさと葛飾」を実現していくことが「葛飾らしい協働」です。

区では、葛飾区基本計画に「協働推進プロジェクト」を掲げ、協働の推進に向けた環境づくりを進めています。



葛飾区基本計画「協働推進プロジェクト」の概要

1. 協働意識・郷土意識を醸成する

区の実施や地域で行われている活動など区政や地域の魅力を効果的に発信し、地域への思いを育み、協働意識を醸成しています。また、協議会、意見交換会、勉強会、交流会などのさまざまな機会を通じて、地域の課題を共有しながら、地域の魅力を高めるための活動につなげています。

推進に向けた主な取組

- 葛飾区協働事例映像の制作・放映、協働事例集の発行
- 職員出前講座の実施
下町川柳コンクールの実施
- 「協働のまち葛飾」(広報かつしか)の連載
- 各種協議会・意見交換会・勉強会・交流会の開催、計画等策定への参画 など

2. 協働を広げる・深める

① 協働への「きっかけ」をつくる

地域活動に興味がある方や地域活動に有益な知識・技術を持つ方が、協働の活動をはじめめるための「きっかけ」づくりを進めています。

② 協働の可能性を広げる

多様な主体を協働の取組につなげて、さまざまな分野で新たな取組を生み出し、協働の可能性を広げています。

③ つながりを広げる・深める

協働の活動者同士が情報共有や連携し合える環境づくりを進めてつながりを広げ、そのつながりを深めながら協働の取組を活性化させています。

Facebook

葛飾みんなの協働サイト

区内で地域貢献活動をしている自治町会や区民活動団体、NPO、事業者などの皆様が、活動内容やイベント、ボランティア募集などの情報をタイムリーに紹介することができる「葛飾みんなの協働サイト(以下「協働サイト」という。))」を運営しています!



葛飾みんなの協働サイト



協働サイトとは?



- フェイスブックのグループ機能を使い、会員同士の投稿を共有(シェア)※する場です。
- 会員は、ご自身のフェイスブックサイトにおいて投稿し、その中から、協働サイトで紹介したい記事を「シェア機能」を使って共有することで、投稿を広く周知することができます。
- 他の団体等の外部向け記事もご自身のページに表示されるようになりますので、区のさまざまな協働の団体等の活動を知ることができます。

※「シェア」とは…自分や他の人が投稿した内容を、自分以外の人(友達やその他多数)に広めること。また、「シェア」する際にコメントを入れて投稿することもできる。

協働サイトへシェアできる内容

活動紹介やイベントの開催、ボランティア募集など、基本的に団体等の活動に関するものであればシェアできます。記事をシェアして広く周知・PRしましょう!

※協働サイトへシェアできないものや禁止事項については、利用規約でご確認ください。



新規会員団体募集中!

協働サイトに登録を希望する場合は、区公式ホームページから申請書をダウンロードし、必要な書類を添えて政策企画課(協働推進担当)までご提出ください。

詳細は、区公式ホームページをご覧ください。



第6回 令和4年度

テーマ

葛 飾 愛

一般の部

特別賞
あと十年 区制百年
みとどける
真琴

第一生命賞
初夢は一寅二両
三翼
クリキントン

葛飾川柳連盟会長賞
ちよいれトロちよい都会さを
あわせもつ
林昌代

区長賞
町工場「僕が継ぐよ」と
四代目
猫タン

中学生の部

第一生命賞
下町の 技術溢れる
町工場 誇張しすぎたシチュエーションの?

葛飾川柳連盟会長賞
葛飾は アニメ溢れる
夢の町
佐藤弘基

教育長賞
亀有で 笑って泣いた
映画館
ただの葛飾区民

区長賞
遊んでた リカちゃん実は
発祥地
土屋杏珠

小学生の部

第一生命賞
とらさんはここにいますよ
かつしかく ウタカララバイ

葛飾川柳連盟会長賞
しんきんせん つかきつと
のりたない
あーみん

教育長賞
かつしかは きんぎよのかたち
しってるかい
石鉢 瀬奈

区長賞
町工場 元気な音で
活気つく
織田 信長

コンクール

下町川柳

協働のまち葛飾

みんなが、ことばの力で、
つながり、助け合い、葛飾愛
を深めていく!
そうしたいを込めて、川柳
コンクールを行っています。
葛飾の魅力が詰まった作品
を紹介します!

お知らせ

- 第7回(令和5年度)は、「わたしの幸せ」をテーマに実施しました。
- 第8回(令和6年度)の応募に関する情報は、令和6年夏ごろ公表予定です。

令和5年度の入賞・入選作品
や過去の入賞作品につつま
しては、区公式ホームページ
をご覧ください。



葛飾区 協働川柳



動画で見る！ 葛飾区の協働

YouTubeやDVDで
ご覧いただけます

地域や事業者の皆様にも協働による取組を広く知って
いただくため、活動の一部を映像にまとめました。



DVDは無償で貸出ししています

貸出しを希望される方は、政策企画課(協働
推進担当)までお問い合わせください。

▼ 区公式ホームページでチェック！

葛飾区 協働映像



令和5年度の
掲載団体

- 1 梅田町会
 - 2 葛飾の川をきれいにする会
 - 3 南葛SC
 - 4 自主生産品販売所協議会
 - 5 立石ぴいこ音楽祭実行委員会
- (掲載順)



葛飾協働まちづくり表彰

区内において、地域をより良くし、区民福
祉の向上に寄与する活動に尽力されてい
る方や団体、事業者の皆様の功績を称えて、
葛飾協働まちづくり表彰を行っています。

▼ 区公式ホームページでも紹介しています。

葛飾区 協働表彰



令和4年度の表彰団体 (50音順・敬称略)

個人

- ・大浦 清宏
- ・滝沢 恒夫
- ・二葉 一男

団体

- ・葛飾区クレイ射撃連盟
- ・(一財) 葛飾区サッカー協会
- ・(一社) 葛飾区スキー連盟
- ・葛飾区スポーツ少年団

- ・NPO法人 葛飾区聴力障害者協会
- ・葛飾区バスケットボール連盟
- ・葛飾警察署母の会
- ・(一社) 葛飾建築協会
- ・かつしか女性会議
- ・葛飾防犯協会
- ・金町駅北口周辺地区まちづくり協議会
- ・亀有警察署母の会
- ・亀有防犯協会
- ・新小岩北地域まちづくり協議会

- ・新小岩南地域まちづくり協議会
- ・高砂地区開発協議会
- ・立石ぴいこ音楽祭実行委員会
- ・東京都栄養士会葛飾支部
- ・(一社) 東京都建築士事務所協会葛飾支部
- ・ふるさと葛飾盆まつり実行委員会
- ・堀切中央商店街振興組合
- ・NPO法人 みらくる

事業者

- ・東京ガスネットワーク(株) 東京東支店



葛飾区職員出前講座



「協働」を進めるためには、まず区の現状や取組などの情報を共有
することが大切です。そこで、区職員が皆様の地域に伺い、区の現状
や取組についてお話しする「職員出前講座」を実施しています。

対象

区内在住・在勤・在学の10名以上の
団体・グループ

日時

午前9時～午後9時の2時間以内
(年末年始を除く)

会場

区内のご希望の場所
(会場については、申込団体・グループでご用意ください。)

申込書配布

区公式ホームページ・区民事務所・
地区センター・図書館など



▼ 区公式ホームページでも紹介しています。

葛飾区 出前講座



申込方法



職員出前講座
オンライン
申請フォーム



1 講座を選ぶ

講座一覧よりご希望の講座をお選びください。
※同時に2つ以上の講座の申込みも可能です。

2 講座の 担当課に 連絡する

受講希望日の20日前までに、講座の担当課にご連
絡ください。なお、日時調整が必要な場合があり
ますので受講希望日を3日程度お伝えください。
※オンライン申請フォームからも申し込みます。

3 申込む

受講希望日を確認後、講座の担当課へ所定の申
込書をご提出ください。
※オンライン申請フォームからの申込みの場合は、申込書の提出は不要です。

4 出前講座実施

区職員が会場へ伺い、お話しします。

※この講座は、政治・宗教・営利活動を目的とした催しには利用できません。また、区に対する
陳情などをお受けする目的で行うものではありませんので、ご理解ください。

▶ オンライン版職員出前講座の配信について

時間や場所にとらわれずに受講できるオン
ライン版の職員出前講座を区公式YouTube
で配信しています。ぜひ、ご覧ください！



区公式YouTube



「幸せ かつしか」をめざして

区は、令和12年までにSDGsを達成し、区の持続可能な発展を実現するため、SDGsの取組の推進や普及・理解促進を図っています。令和5年3月には、「葛飾区SDGs推進計画」を策定し、特に重点的・先行的に進めていく取組を「SDGsかつしか未来プロジェクト」として掲げています。

今後も、区民・事業者等の連携・協働を強化し、「持続可能な『幸せ かつしか』」の実現をめざしていきます。



▲計画書をご覧いただけます。



SDGs推進に向けた主な取組

区民や事業者の方に向けて、SDGsの概要や区取組をご紹介します。

- 職員出前講座
(オンライン版「教えて！せりさん SDGsってなに？」もあります)
- 区公式ホームページやSNSでのSDGs情報の発信
- 各種イベントでのパネル展示 など



そのほか、職員研修を行い、SDGsへの理解を深め、行動できる職員を育成しています。

あなたの一步で 世界は変わる！

「SDGs=世界(地球規模)の話」と敬遠してしまう方も多いのではないのでしょうか。SDGsは国や自治体だけではなく、個人や事業者ができる取組もたくさんあります。一つ一つの行動が積み重なれば、社会を変える大きな力になります。



▲取組事例

STEP1
知る

まずは興味のあるゴールについて調べてみましょう。

STEP2
考える

自分にできることを考えてみましょう。

STEP3
行動する

考えたことを実践してみましょう。

できることから
始めてみましょう！



「SDGs宣言事業」を行っています。

事業者の方を対象として、SDGsの達成に貢献する活動の取組事例(葛飾区SDGs宣言)を募集し、区公式ホームページなどで情報発信しています。



葛飾区
SDGs
宣言受付

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



エス・ディー・ジーズ
SDGsとは？

2030年までに持続可能でより良い世界の実現をめざす国際目標のことです。貧困や教育、気候変動など達成すべき17のゴールがあります。

17のゴールの概要はこちら！



1 貧困をなくそう

生活に困る、貧しい人がいないようにしよう



2 飢餓をゼロに

みんなが栄養のある食べ物を十分に食べられるようにしよう



3 すべての人に健康と福祉を

赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが健康に生きられるようにしよう



4 質の高い教育をみんなに

世界中の人が学べる環境を作ろう



5 ジェンダー平等を実現しよう

「男だから」「女だから」、そんな時代はもうおしまいにしよう



6 安全な水とトイレを世界中に

みんなが安全な飲み水とトイレを使えるようにしよう



7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

自然にやさしいエネルギーを、世界中の人々に届けよう



8 働きがいも 経済成長も

経済成長を進め、みんなが人間らしい仕事をして、もっと世界を良くしよう



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

新しい技術をみんなが使えるようにしよう



10 人や国の不平等をなくそう

人と人の平等、国と国の平等を守っていこう



11 住み続けられるまちづくりを

みんなが住みやすいまちをつくらう



12 つくる責任 つかう責任

環境も健康も守れるように、ものを作ったり使ったりしよう



13 気候変動に具体的な対策を

これ以上、地球を暑くしないための行動を起こそう



14 海の豊かさを守ろう

魚を獲りすぎず、ごみを減らし、海と海の生き物を守っていこう



15 陸の豊かさを守ろう

陸の環境を守り、多様な生き物が生き続けられるようにしよう



16 平和と公正をすべての人に

争いのない平和な世界をみんなで作ろう



17 パートナーシップで目標を達成しよう

みんなが目標を達成しよう

問い合わせ

政策企画課(SDGs推進担当) 電話:03-5654-8575 FAX:03-5698-1501
メール: sdfs@city.katsushika.lg.jp

区公式ホームページ(SDGsの達成に向けて) ▶



災害ボランティア活動支援体制づくり 災害ボランティア活動支援



葛飾区社会福祉協議会は、区と締結している「災害時におけるボランティア活動に関する協定」に基づき、区内で大規模災害が発生した場合に、災害ボランティアの活動拠点となる災害ボランティアセンターを設置します。そのため、日頃から、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練や各種講座などを通じて、災害時対策や災害ボランティア活動支援を行っています。

- 災害ボランティア講座
- 災害ボランティア体験講座
- 災害ボランティアセンター設置・運営訓練（災害時に必要となるボランティア活動などを体験）
- 災害ボランティア登録制度
- 普及啓発活動
- 災害支援三者交流会（ボランティア団体やNPO法人、関係機関との連携体制づくりなど）



福祉・ボランティア出前講座



地域や学校へ講師を派遣し、車いす体験や手話など、さまざまな講座を開催して、福祉やボランティアに関する普及啓発を行っています。

その他の事業

- ボランティア講座
- ボランティア相談
- 福祉教育推進活動
- ハンディキャブ運行事業

詳細は ホームページをご覧ください。



葛飾 社協 ボランティア

社会福祉法人
葛飾区社会福祉協議会

ボランティア・地域貢献活動センター

開設
日時

月曜日～金曜日・第1・3土曜日
午前8時30分から午後5時まで
(第2・4・5土曜日・日曜日/祝日・年末年始を除く)

場所

東京都葛飾区堀切 3-34-1
ウェルピアかつしか 1階

問い合わせ

電話 03-5698-2511

FAX 03-5698-2513

メール vc@katsushika-shakyo.com

ボランティアやNPO活動についての相談窓口 /

ボランティア・地域貢献活動センター

「ボランティア・地域貢献活動センター」は、ボランティア活動をしたい方と、ボランティアを必要とする方をつないでボランティア活動の輪を広げます。また、ボランティア団体やNPO法人などを支援するとともに、葛飾区内の地域貢献活動の活性化を図るために講座や交流会なども開催しています。



区内のさまざまなボランティア活動を紹介! かつしかボランティアまつり



ボランティア団体、NPO法人などの紹介や活動をPRするため、年1回、秋に実施しています。参加団体には「他の団体との交流」、来場者には「ボランティア活動について知ってもらい、活動に参加するきっかけ」の場となっています。

令和5年度は4年ぶりに模擬店が復活して、来場者が焼きそばなどを会場で食べることができました。



その他にも、バザーや手話・点字・災害・防災に関する体験教室などを開催。また、ホームページに区内の団体を紹介する特設サイトを開設しました。

「はじめたい、継続したい」を支援! 地域貢献活動サポート事業

職員や専門家による 相談事業

一般相談

活動方法、団体の結成や運営、NPO法人の設立などの相談

専門家による相談

団体を運営する上で必要な税務、会計など、専門的な相談（予約制）



ボランティア・NPO入門講座

（かつしか区民大学
単位認定講座）

地域貢献活動をこれから始めたい方、基礎的な知識を学びたい方向けの講座

協働関係の構築

個人や団体、各関係機関との連携及び協働関係構築のサポート

交流会(年4回)

法律や税務などのほか、子ども食堂など関心の高いことをテーマにして開催

コラボかつしかまつり

かつしかボランティアまつりと同時開催

情報の収集と発信

情報誌「かつしかゴト。」の発行、メルマガやSNSの発信